

令和5年度第2回浦安市学校給食センター運営委員会議事録（議事要旨）

- 1 開催日時：令和5年11月2日（木）午前10時30分～午前11時30分
- 2 開催場所：浦安市千鳥学校給食センター、浦安市立富岡小学校
- 3 出席者
（委員）遠山会長、鈴木副会長、北尾委員、栗原委員、西田委員、増井委員、
下田委員、筒井委員、小田委員、高橋委員、伊藤委員、早川委員
（教育委員会）
榎教育総務部部長、鈴木教育総務部次長、阿部保健体育安全課課長、
平林千鳥学校給食センター所長、事務局7人
- 4 傍聴人：なし
- 5 議事（1）審議事項：学校給食費改定（案）について
（2）報告事項：学校給食に関するアンケート集計結果について
（3）その他
- 6 議事概要及び会議経過
（1）審議事項：学校給食費改定（案）について
事務局より説明し、承認を得た。委員からの質問及び意見は、次のとおり。
（委員）増額分（改定分）による児童生徒の保護者負担分は市が負担するために
実質据え置きとのことだが、教職員は値上げになるのか。
（事務局）教職員及び給食従事者は、改定額となる。
（2）報告事項：学校給食に関するアンケート集計結果について
事務局より説明し、承認を得た。委員からの質問及び意見は、次のとおり。
（委員）質問項目に食器や箸があるのは、なぜか。
（事務局）令和8年度に開始予定の給食センター次期事業の参考とするため、アン
ケートの質問項目に入れている。現在の給食センターを設立する時に、保
護者や教職員等の意見を取り入れ、環境ホルモン等の視点から検討した結
果、強化磁器食器を導入した。しかし、学校から給食配膳時に食器を運ぶ
と重いというご意見があったことや、強化磁器ではあるが「割れるモノ」
であることから、アンケートを実施した。
（委員）アンケートでは給食が小中学校共に足りないという回答となっている。
足りないということは食べられないということだと思う。この「足りな
い」という結果を次期事業にどの様に活かしていくのか。
（事務局）アンケートで「量が足りない」という回答は、小学生が14.7%、中学生
が14.4%であり、全体的には足りていると考えている。実際に、給食時間
に学校を訪問して状況をみているが、おかわりなどをしているので、全
体的には概ね足りていると認識している。
学校給食は、量を目指して作るというよりは、決められた学校給食栄

養摂取基準があり、一人当たりの栄養摂取基準を計算して作っている。

アンケート結果は、今後の献立作りの参考にしたいと考えている。

- (委員) 知り合いの管理栄養士から「小学生は食べる量が足りていない、しっかりと食べさせないといけない」という話を聞いた事があり、気になっている。足りていると思っている親は、実は、自分の子供が給食を残していて必要量が食べられていない。家でカロリー不足を補ってあげなければいけないが、不足している事が分からず、補うことができていない。
- 先程から概ね足りている・概ね好きという説明があったが、概ねではない方をどうするかを徹底的に考えていただきたい。

- (事務局) 「足りている」「足りていない」というアンケートの設問だけでは、足りていないという本質の理由というところまでは回答から掴めない。

学校現場にいる先生や栄養士等と、もう少し突き詰めていく必要があると考えている。また、最近の子供たちは、炭水化物ダイエットなどにより、ご飯を食べなくなってきたと感じている。給食の大切さを子供たちに伝える必要があると考えている。

- (委員) しっかりと食べさせるには、どうすれば良いか考えていただきたい。

- (事務局) 学校でも配膳の調整をしてもらっているが、一食当たり栄養価で、この位の量を盛ってほしいというポスターのような物を学校に配付している。それを目安に、個人差があると思うので、そこから、学校に調整をしてもらっている。栄養の摂取等、盛り残すと残渣になるので、目安として、各学年に応じた盛り付け例を渡している。

- (委員) 前回の会議では、食べ残しがそれなりにあるとのこと。今回の会議では、足りないとのこと。ギャップがすごくある。給食が足りないのなら残っているものを食べたら良いのに、おかわりするのが恥ずかしいからとのことから、足りないと感じているのかなと思う。

- (委員) 食べる時間が足りないということもあるのではないか。時間がかかる子供もいるので、給食が残っているけれども、本人の意思があっても時間が取れない。先生方も工夫されていると思うが、時間が取れない場合、このアンケートの回答だと読みづらいと感じている。

- (会長) 小学校の場合は、給食時間を45分、実際に食べる時間は20分間取っている。食べる時間をしっかりと確保することは学校現場としては意識して日々取り組んでいる。しっかりと子供たちの栄養価を保持するよう、給食を通じて、食育を進めていくようにしたい。

- (副会長) 給食は個人差が顕著であり、食べる量も違えば好みも違い、食べる速さも全然違う。食の細かい子供は食べる時間がかかっている。特に、小学生を見ているとそう感じる。

(3) その他

次回の会議日程について事務局より説明した。